

1 住基カードの独自サービス

サービス	概要	開始年月
証明書自動交付	構造改革特区認定を受け、商業施設ビルに設置！ これにより平成17年3月に規制緩和され、コンビニ交付が可能に！ ※H22.6 終了(民間企業撤退) 住基カードでは全国初！	H15.8
図書の貸出し	カード裏面にバーコードを付し、図書カードとして利用 全国初！	
公共施設予約	ICカード標準システムで安価なコストでサービスを実現 ※H24.3 終了(標準システムサポート終了) 全国初！	
カード無償化	住基カードの交付手数料の無償化 住基カード無償化は県内初！	H18.5
窓口支援	窓口での住民による申請書等の記載の簡略化 証明書等約100種類 住基カードでは全国初！	H19.4
職員の出退勤管理	職員の労務、健康管理のため、出退勤時刻の管理を実施 住基カードでは全国初！	
キオスク端末サービス	日帰り温泉の利用助成件の発行とお楽しみ抽選機能のサービス ※ H24.3 終了(耐用年数経過) 住基カードでは全国初！	
子育て支援 (サンキッズカード事業)	3人以上子供を育てる保護者に対し、官民が協力し、優遇サービスを提供。H20.7.1から該当世帯の祖父母にも拡大 住基カードでは全国初！	H19.7
証明書コンビニ交付	住民票、印鑑登録証明書の交付を開始 県内初！	H23.3
	同じく、戸籍証明、所得証明及び課税証明の交付を開始 県内初！	H24.3

※ これらの取組が評価され、平成19年11月20日に総務大臣より地方自治功労者とし表彰
また、平成21年9月28日には(財)地方自治情報センターより奨励賞を受賞

2 個人番号カードの独自サービス

◎ テーマ： 様々な窓口受付を、より優しく、スピーディーに！

区分	サービス	概要
改良	窓口支援サービス (申請書記載不要、手数料割引)	住民票、税証明、戸籍証明は、パスワードを要求せず、カード券面確認のみのサービスに変更し提供。その他、カード無くても約300種類の申請書記載簡素化 ※印鑑登録証明は、パスワード確認により継続提供(国の通達で必須)
	図書貸出しサービス	住基カードの券面利用を改め、J-LIS標準システムに切り替えて提供 ネット利用者は、現状の図書館窓口への申請も必要なく、市民窓口課への申込のみで完了
新規	選挙の期日前及び当日の投票入場受付	〔全国初！〕 入場券無くても、待ち時間なく個人番号カード利用により瞬時で受付
	避難所の入退所受付	〔全国初！〕 被災者支援システムを使って、カード所有者及びその世帯員を瞬時で受付 ※ 現在の避難者名簿(紙)による入力方式では、記載の氏名・住所等が不明瞭なものが多く、膨大な入力時間を要す。大災害時の安否確認、避難者管理が実質困難！
継続	証明書コンビニ交付サービス (手数料割引)	全国のコンビニにおいて住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、所得証明及び課税証明を交付 ※ 公的個人認証の更新負担を考慮し、カードAP方式を採用
	職員の出退勤管理	職員の労務、健康管理のため、出退勤時刻の管理を実施 ※ J-LISから28年4月以降提供予定の「個人番号カードAP 搭載システム」により、市外在住職員もマイナンバーカードを使用する予定
その他	子育て支援	券面制限のため顔写真入りプラスチックカード化

※ 個人番号カードが保険証を兼ねることが可能となる予定のH29年度を目標に、マイナポータル活用や医療情報や健康情報の官民共有サービスの研究を行う。